

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚原発扁平上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Perineural spread of cutaneous squamous cell carcinoma via the orbit. Clinical features and outcome in 21 cases	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ9-9、SCC-CQ10-4	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	9307641	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Ophthalmology	
	雑誌 ID		
	巻	104	
	号	9	
	ページ	1457-62	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1997 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		McNab AA	Royal Victorian Eye, and Ear Hospital
その他著者 1		Francis IC	同上
その他著者 2		Benger R	同上
その他著者 3		Crompton JL	同上
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	眼窩周囲に発生した皮膚扁平上皮癌のうち神経周囲浸潤をきたした症例の臨床像、治療法、治療成績を解析する		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	Royal Victorian Eye, and Ear Hospital		
	対象者	21例の眼窩周囲に発生した皮膚扁平上皮癌のうち神経周囲浸潤をきたした症例 部位：前頭部(11例)、眼角(3)、頬(3)、側頭部(2)、他		
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	対象者情報(年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (14)		
	介入(要因曝露)	外部照射単独：9例、根治的手術＋放射線療法：3例、保存的手術＋放射線療法：3例、根治的手術単独：2例、保存的手術：1例、無治療：3例		
	エンドポイント(アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	再発形式	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		2	予後	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	さまざまな治療が行われていたが予後は不良。 14例は9か月～5年で死亡。原因は局所または頭蓋内浸潤による。 2例のみが14-18年生存。		
	結論	眼窩周囲の神経周囲浸潤を呈した症例の予後は不良。放射線療法は姑息的治療としては有効か。根治的手術は周囲正常組織もあり限られた症例に適応となる。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人		

	レビューワーコメント	神経周囲浸潤例が予後不良であることはわかるが、治療法に関する知見はない。 レベル I V
--	------------	---